

# 微生物関連腫瘍における個別化医療を目的とした試料解析研究

## 1. 研究の対象

過去に当院で腫瘍のため検査を受けられた方で、腫瘍ウイルス等の微生物が関連していると思われる症例で、かつ本研究目的に適していると判断された方のみが対象になります。

## 2. 研究目的・方法

お薬の効き目には個人差があり、同じ治療を受けても、よく効く患者さんとあまり効果のない患者さんがいます。このような治療効果の差は、病気に関わる遺伝子やタンパク質などが関係していると考えられており、それぞれの患者さんの病態にあわせた治療薬、治療法を選択することを「個別化治療」といいます。

近年、特定の微生物や健康な状態では害のない微生物が作用することで、腫瘍が発症したり、悪化しやすい状態になることがわかってきました。このような微生物が関係する腫瘍には、体内環境の変化や異常な細胞に特定の遺伝子の異常がみられることが分かっています。治療薬の治療効果や副作用を予測できるマーカーの探索は、現在も多くの研究者によって精力的に進められ、個人個人に適切な治療法のあり方について詳しく分析できる可能性が高まっています。この研究では、微生物が関係する腫瘍が発生するしくみや薬による治療効果の違いをもたらす個人差を明らかにするために、異常な細胞の特徴を詳しく調べることを目的としています。将来の微生物関連腫瘍の個別化治療の実現に役立ちます。

病気の診断や治療のために必要な検査で、検体を採取した後の残余の部分（余剰検体と呼びます）を研究に用い、さまざまなタンパク質や遺伝子の発現を解析します。

研究期間は平成 28 年 10 月 12 日より平成 34 年 3 月 31 日までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、生検・手術で摘出した組織等

情報：カルテ番号、生年月日、病理検体番号、病歴、治療歴等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

研究責任者： 氏名：大畑 雅典（教授）高知大学医学部微生物学講座

住所：高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088 880 2323